

## 輸血前後感染症の取り組み



医療法人仁慈会 安田病院

## はじめに

昨年、広島県輸血療法委員会より「輸血前後の感染症検査実施手順書」並びに、「輸血手帳ひろしま」が発行された。

当院では、8月より「輸血後感染症検査案内」「輸血手帳ひろしま」の配布・輸血後感染症検査の実施を開始した。これまでの取り組みを報告する。

## 安田病院の概要

住所：竹原市下野町3136

病床数：一般病棟113床 療養病棟80床

診療科：内科 外科 整形外科 リハビリテーション科

泌尿器科 耳鼻咽喉科 脳神経外科 婦人科

精神科 麻酔科 健康管理センター 人工腎センター

施設基準：DPC対象病院

入院患者平均年齢：75歳

電子カルテ：ソフトウェアサービス  
Newtons2



## 輸血手帳運用開始までの流れ

平成28年3月 輸血管理委員会にて「輸血後感染症検査案内」と「輸血手帳ひろしま」の運用方法の検討を看護部へ依頼



平成28年7月 輸血管理委員会にて運用方法を決定



平成28年8月 「輸血感染症検査案内」と「輸血手帳ひろしま」の配布、輸血後感染症検査の実施を開始

## 輸血前

主治医が輸血及び輸血前後感染症検査の説明と輸血同意書の取得を行う



輸血前感染症検査実施  
(HBs抗原、HBs抗体、IgG-HBc抗体  
HCV抗体、HIV抗体)



主治医が結果を告知

## 輸血後(臨床検査課)

電子カルテの「患者メモ」欄に輸血後感染症検査実施依頼文を記載



輸血後感染症検査案内と輸血手帳ひろしまの作成

業務時間内

夜間・休日

外来患者

入院患者

外来患者

輸血終了まで

退院前日まで

翌日以降

輸血後感染症検査案内と輸血手帳ひろしまを患者担当看護師へ渡す

## 輸血後(看護部)

臨床検査課から輸血後感染症検査案内と輸血手帳ひろしまを受け取る

入院患者

外来患者

患者名を確認後、**【患者ファイル】**に保管する

患者担当看護師が輸血直後に内容説明し渡す

退院時、患者担当看護師が内容説明し渡す

### ※【患者ファイル】

病棟において、入院患者の同意書などの各書類を保管するファイル

※ 患者本人への説明が困難な場合は、付き添いの方に説明する(家族、付き添いの施設職員など)

## 電子カルテ

電子カルテ画面のスクリーンショット。患者情報欄に「H29/3/12以降、輸血後感染症をお願いします。検査実施後、コメント削除してください。」という注釈が追加されている。

H29/3/12以降、輸血後感染症をお願いします。検査実施後、コメント削除してください。

## 輸血後感染症案内文

広島県輸血療法委員会発行の「輸血前後の感染症検査実施手順書」を基に作成

高齢者を考慮し、文字を大きくした！

輸血後の感染症検査案内文のサンプル。文字が大きく、読みやすいデザインになっている。

## 輸血手帳



輸血手帳の記入例。血液型がA(+)と記載されている。氏名、年齢、性別、血液型、輸血回数、輸血日時などの項目が確認できる。

「輸血を受けられた方へ」の案内文。患者名「安田 太郎」、血液型「A(+)」が記載されている。輸血に関する注意事項や検査結果の受け取り方についても説明されている。

**医療機関のみさまへ**

広島県では、県内の輸血医療の標準化を目的に平成23年度に、広島輸血委員会を設けられました。そこで、輸血前後の感染検査の推進する取り組みの一つとして、当委員会が、輸血手帳ひろしまを作成しました。

患者さんが輸血を受ける際には、前ページ(あなたの基本情報)欄及び次ページの(輸血施行医療機関)欄にご記入の上、患者さんにお渡しすると共に、輸血後感染検査の請求をさせていただきます。患者さんが輸血後に貴施設を退院され、本手帳も指示された場合には、以下の輸血感染検査を行って下さい。

HIV1/2抗体検査  
HIV1/2抗体ELISAまたはO/E法  
※なお、輸血前より上記ウイルス感染が確認できる場合は、輸血後とは異なります。

※患者さんに予後診断法がある場合は、現在利用している抗体名を[あなたの基本情報]欄に、ご記入ください。

**輸血施行医療機関** \*次ページを参照すれば空欄可  
 安田病院 〒250-0012 2017年 月 日(日手渡し)  
 広島県竹原市下野町3136  
 敷 0864(22-912)  
 \*継続輸血施行日 2017年 月 日  
 製剤種: Lot:

**輸血施行医療機関** \*次ページを参照すれば空欄可  
 安田病院 〒250-0012 2017年 月 日(日手渡し)  
 広島県竹原市下野町3136  
 敷 0864(22-912)  
 \*継続輸血施行日 2017年 月 日  
 製剤種: Lot:

**輸血施行医療機関** \*次ページを参照すれば空欄可  
 名称: (年 月 日手渡し)  
 連絡先: 担当 電話番号  
 \*継続輸血施行日: 年 月 日  
 製剤種: Lot:

輸血施行日	輸血製剤 (シール貼付でもよい)	輸血施行日	輸血製剤 (シール貼付でもよい)
2017/1/10	製剤: 顆粒赤血球凍干(100ml) 製剤番号: 41-0222-3645	製剤種:	Lot:
2017/1/10	製剤: 顆粒赤血球凍干(100ml) 製剤番号: 44-5321-4967	製剤種:	Lot:
2017/2/10	製剤: 顆粒赤血球凍干(100ml) 製剤番号: 44-5321-4970	製剤種:	Lot:
2017/2/10	製剤: 顆粒赤血球凍干(100ml) 製剤番号: 44-5321-4980	製剤種:	Lot:
././	製剤種:	Lot:	
././	製剤種:	Lot:	
././	製剤種:	Lot:	
././	製剤種:	Lot:	
././	製剤種:	Lot:	

通信欄

### 事例1

外来輸血の受診で輸血手帳を持参しなかった

**原因** ・外来看護師に輸血手帳が周知されていなかった  
 ・退院時の説明不足により持参しなかった

**対処** 新しく輸血手帳を発行した

**対策** 外来受診と入院の際は、担当看護師が輸血手帳の持参を勧めるよう、輸血管理委員会を通じて通知した

### 事例2

病棟の患者ファイルに保管中の輸血手帳が、他人の手帳と入れ替わっていた

**原因** 患者ファイルに保管する際、手帳を開いて名前を確認していなかった

**対処** 輸血手帳を再発行した

**対策** 輸血手帳ひろしまの保管前後と患者へ渡す時は中を開いて名前を確認する

### 今後の課題

- 受診の際は常に輸血手帳を持参するよう患者にアプローチする
- 看護師の意見を聞き、改善点・アプローチ方法を検討する
- 輸血手帳の作成時・受け渡し時・保管時の事故防止に努める

ご清聴ありがとうございました

